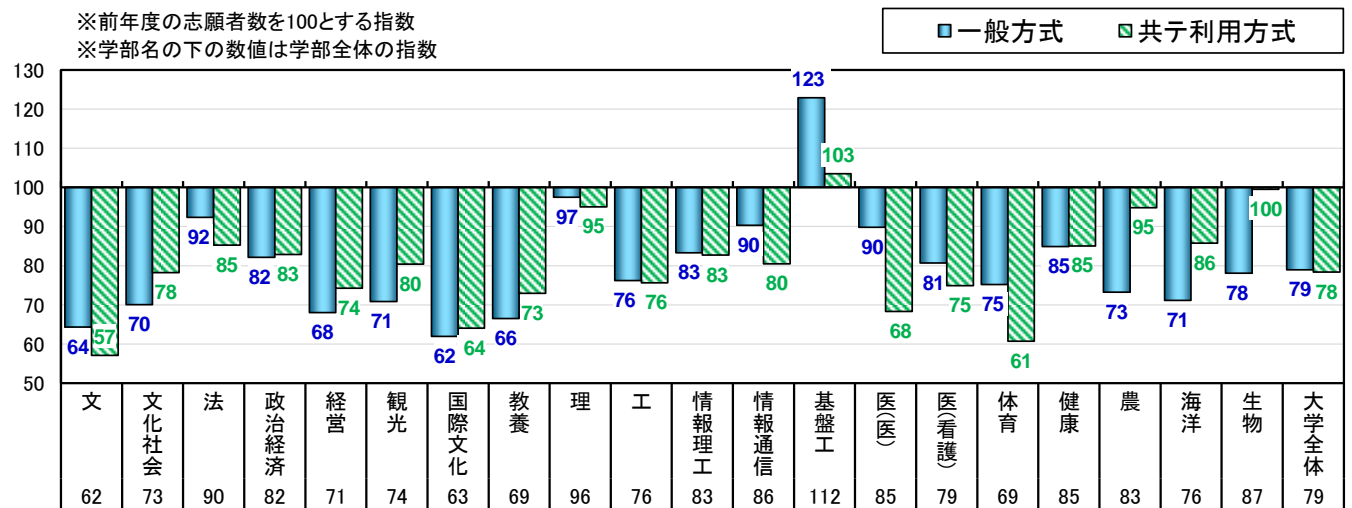


# 2021 年度入試状況分析【私立大】

東海大：大学全体では2年連続の減少

一般：-7,110人 共テ：-4,859人



**入試変更点** 選抜方法：〈共テ・後期〉…英語は筆記のみを課す→英語はリーディングとリスニングを課す  
2科目受験・2科目合否判定→3科目受験・3科目合否判定  
体育(生涯スポーツ、スポーツ・レジャーマネジメント)…〈文系学部統一(前期)〉新規実施  
工(航空宇宙/航空操縦)…募集中止 ※コロナ禍対策によるもの

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、コロナ禍の中で1人当たりの志願校数を絞り込む影響を受けて11,969人(79)の大幅減少で、2年連続減少。学部別では、熊本キャンパス設置の基盤工(112)以外の全ての学部が減少。方式別では、一般方式が7,110人(79)減少、共通テスト利用方式が4,859人(78)減少で、ともに大幅減少。

〈一般方式〉

- 文(64)は、大幅減少で3年ぶりの減少で大幅減少。学科・専攻別では、全てが減少し、特に(文明)(43)は前年度大幅増加の反動で半減以下の大幅減少。
- 文化社会(70)は、大幅減少で2018年度改組後初めての減少。学科別では、全ての学科で大幅減少し、特に(ヨーロッパ・アメリカ)(52)、アジア(57)は半減近い大幅減少。
- 法(92)は、減少で2年連続減少。
- 政治経済(82)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、全ての学科で減少し、(政治)(79)、(経済)(80)はいずれも大幅減少、(経営)(87)は減少。
- 経営(68)は、熊本キャンパス設置の学部だが、大幅減少で6年ぶりの減少。2学科とも大幅減少で、コロナ禍の影響を強く受けた(観光ビジネス)(46)は半減以下の大幅減少で2年連続減少、(経営)(78)も大幅減少で5年ぶりの減少。
- 観光(71)は、コロナ禍の影響を強く受けて、大幅減少で2年連続減少。
- 国際文化(62)は、札幌キャンパスに設置の学部だが、系統への人気低下とコロナ禍による遠距離移動を敬遠する動向から、大幅減少で6年ぶりの減少。3学科とも大幅減少。
- 教養(66)は、大幅減少で7年ぶりに減少。学科・課程別では、全てで減少し、(人間環境/社会環境)(59)、(国際)(62)、(芸術)(73)が大幅減少、(人間環境/自然環境)(95)はやや減少。
- 理(97)は、やや減少で4年ぶりに減少。学科別では、(数学)(124)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(化学)(85)は2年連続増加の反動で大幅減少。
- 工(76)は、大幅減少で3年ぶりに減少。コロナ禍対策で募集中止の(航空/航空操縦)を除いても(76)の大幅減少。学科・専攻別では、(原子力工)(121)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。その他の学科・専攻はいずれも減少。
- 情報理工(83)は、大幅減少で4年ぶりに減少。2学科とも大幅減少。
- 情報通信(90)は、減少で2年連続減少。学科別では、(組込みソフトウェア工)(103)はやや増加だが、その他の学科はいずれも減少。特に(経営システム工)(79)は大幅減少で4年ぶりに減少。
- 基盤工(123)は、熊本キャンパス設置だが、地方の理工系志向の中で、大幅増加で4年連続増加。学科別では、(電気電子情報)(141)は大幅増加で5年連続増加だが、(医療福祉工)(88)は減少で4年ぶりに減少。
- 医(医)(90)は、減少で2年連続減少。
- 医(看護)(81)は、3年連続大幅減少。
- 体育(75)は、大幅減少で7年連続減少。学科別では、全ての学科で減少し、特に(武道)(19)は2割以下の激減。
- 健康(85)は、大幅減少で2018年度の改組後初めて減少。
- 農(73)は、熊本キャンパス設置だが、大幅減少で2年連続減少。3学科とも大幅減少。
- 海洋(71)は、清水キャンパス設置だが、大幅減少で2年連続減少。学科・専攻別では、全てが減少で、特に(航海工/海洋機械工)(43)は半減以下の大幅減少で2年連続の大幅減少。
- 生物(78)は、札幌キャンパス設置だが、2年連続大幅減少。2学科とも減少で、(生物)(66)は大幅減少、(海洋生物学)(89)は減少。

〈共通テスト利用方式〉

- 文(57)は、大幅減少で4年連続減少。学科・専攻別では、全てで大幅減少。

## 2021 年度入試状況分析【私立大】

- 文化社会(78)は、2年連続大幅減少。学科別では、全ての学科で減少し、特に(北欧)(62)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(ヨーロッパ・アメリカ)(65)は2年連続大幅減少。
- 法(85)は、2年連続大幅減少。
- 政治経済(83)は、2年連続大幅減少。学科別では、(政治)(118)は前年度半減近い大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(経済)(71)、(経営)(73)はいずれも大幅減少で2年連続減少。
- 経営(74)は、熊本キャンパス設置の学部だが、大幅減少で2年連続減少。
- 観光(80)は、コロナ禍の影響を強く受けて、2年連続大幅減少。
- 国際文化(64)は、札幌キャンパスに設置の学部だが、系統への人気低下とコロナ禍による遠距離移動を敬遠する動向から、大幅減少で5年ぶりに減少。3学科とも大幅減少。
- 教養(73)は、2年連続大幅減少。5学科・専攻(募集単位)の全てが2年連続大幅減少。
- 理(95)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(数学)(116)は大幅増加、(情報数理)(105)はやや増加。一方で、(物理)(80)は大幅減少、(化学)(91)は減少と対照的。
- 工(76)は、大幅減少で3年ぶりに減少。学科・専攻別では、(原子力工)(115)は大幅増加だが、その他の学科・専攻はいずれも減少。
- 情報理工(83)は、大幅減少で6年ぶりに減少。学科別では、(情報科学)(80)は大幅減少、(コンピュータ応用工)(87)は減少。
- 情報通信(80)は、大幅減少で2年連続減少。全学科で大幅減少。
- 基盤工(103)は、熊本キャンパス設置だが、地方の理工系志向の中で、やや増加で5年連続増加。学科別では、(医療福祉工)(108)は増加で4年連続増加、(電気電子情報)(102)は微増だが5年連続増加。
- 医(医)(68)は、2年連続大幅減少。
- 医(看護)(75)は、大幅減少で2年ぶりの減少。
- 体育(61)は、共通テスト利用方式導入2年目で大幅減少。学科別では、全ての学科で大幅減少で、特に(競技スポーツ)(46)、(武道)(50)、(スポーツ・レジャーマネジメント)(54)の3学科はほぼ半減近い大幅減少。
- 健康(85)は、2年連続大幅減少。
- 農(95)は、熊本キャンパス設置だが、やや減少で2年連続減少。学科別では、(応用動物科学)(106)はやや増加。一方で、(応用植物科学)(87)は減少、(バイオサイエンス)(93)はやや減少。
- 海洋(86)は、清水キャンパス設置だが、2年連続減少。学科・専攻別では、(海洋生物)(108)のみ増加だが、その他の学科・専攻はいずれも減少。
- 生物(100)は、札幌キャンパス設置だが、前年度大幅減少の反動は小さく前年度並。学科別では、(海洋生物科学)(111)は前年度大幅減少の反動で増加だが、(生物)(90)は2年連続減少。